

令和3年度

年末・年始

セーフ

ワーク

Safe Work

推進強調期間



～ 建設業における死亡・重篤災害が増加中～
建設現場に対して集中パトロールを実施します！

期間 令和3年12月1日(水)～ 令和4年1月31日(月)

死亡災害では、依然として建設業が最多(本年10月末現在15人,前年同期比で4人増)であることから、集中的な建設現場の指導を実施します。



墜落制止用具(安全帯)の使用にあたり、改正構造規格に適合しているか、ご確認ください。



足場の点検も忘れずに！



安全衛生管理活動の活性化と墜落・転落防止対策の徹底をお願いします！

～ 皆様へのお願い～

- ① 年末年始の繁忙期をとらえた計画的、かつ、安全衛生に配慮した事業の運営
繁忙期には、安全衛生に配慮した計画的な事業運営を行うことが特に重要です。
 - ② 労働災害防止の気運の醸成に向けた取組
Safe Work ロゴマークの掲示、管理職や従業員への感染症防止に配慮した研修の実施、労働安全衛生に関する行事の開催、安全標語の募集を行うなど。
 - ③ 各関係団体幹部、各事業場の経営トップによるパトロールの実施
 - ④ 感染症防止に配慮した安全衛生大会等の開催
 - ⑤ 積雪・凍結等、冬期における転倒防止、交通労働災害防止対策の徹底
 - ⑥ 大掃除や棚卸し等の作業における脚立・はしごからの墜落、転落防止対策の徹底
 - ⑦ 過去に発生した災害を踏まえた労働災害防止対策の徹底
 - ⑧ 不安全行動防止のための「一人KY(危険予知)」等の実施
 - ⑨ その他、本強調期間にふさわしい創意工夫を凝らした取組
- 上記以外にも安全衛生の取組はたくさんあります。



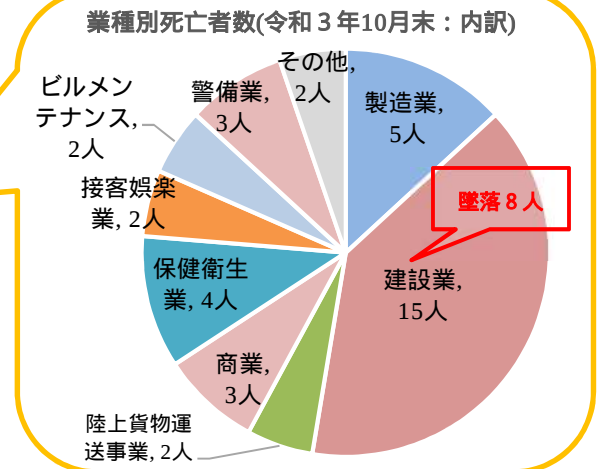
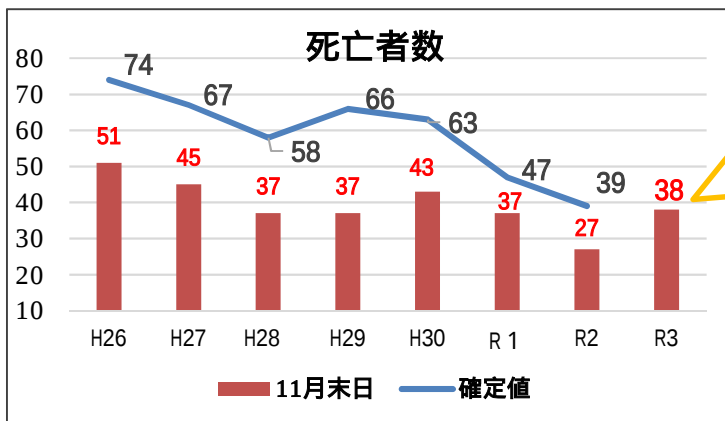
東京労働局・労働基準監督署

(2021.11)

令和3年（10月末時点）の東京労働局管内の労働災害発生状況は、以下のとおりです。
 年末・年始を迎えるにあたり、各事業場において、労働災害防止に向けた取組強化をお願いします！

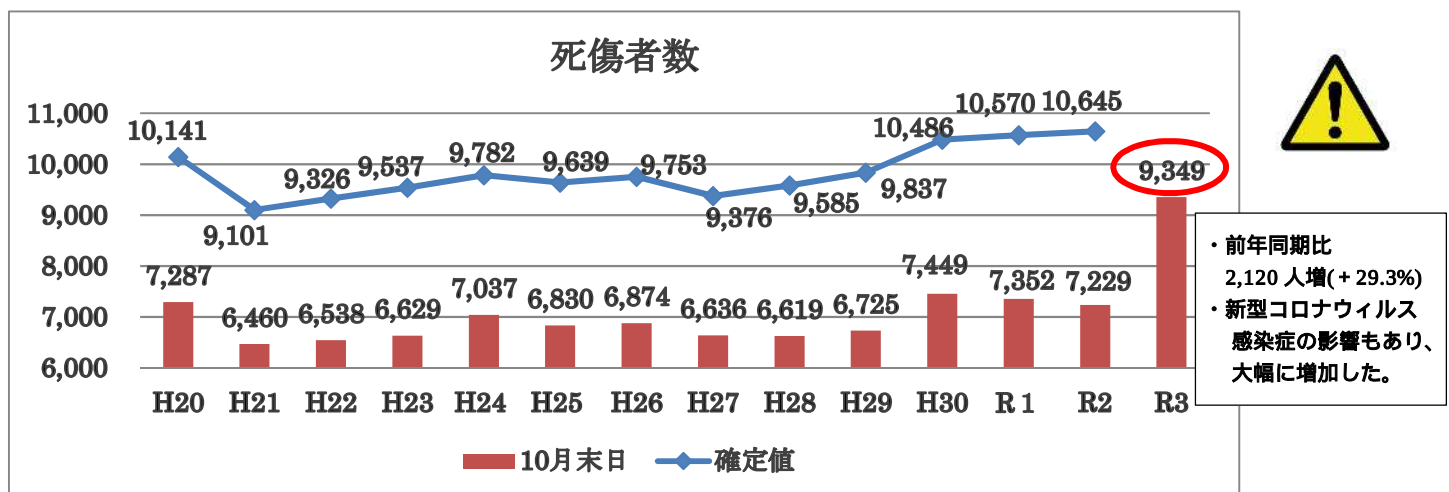
死亡者数 (38 人)

- ・製造業 5 人、建設業 15 人、陸上貨物運送事業 2 人、商業 3 人、保健衛生業 4 人など。
- ・全業種で墜落・転落により 13 人死亡、前年より 9 人増加。



死傷者数 (9,349 人)

- ・去年同期より大幅に増加。4 年連続で年間 1 万人を超える恐れ。
- ・昨年と比べ、建設業、陸上貨物運送事業、商業、保健衛生業、清掃・と畜業で増加。
- ・業種横断的に事故の型では墜落・転落、動作の反動・無理な動作が増加。転倒災害も多発。



年末・年始に発生した災害事例 (令和2年12月～令和3年1月に発生)

製造業 (年齢：60 歳代) プレス機械による銘板抜き作業中に誤ってペダルを踏んでしまい、右手中指と薬指を切傷した。(休業 3 ヶ月)	建設業 (年齢：60 歳代) 木造 2 階建ての解体工事において、1 階の屋根上にある瓦の撤去作業中に墜落し、両腕を骨折した。(休業 2 ヶ月)
運輸交通業 (年齢：60 歳代) トラックからの荷下ろし作業中、ゲートリフターのストッパー部分を踏んでしまい、後方に荷とともに墜落した。(休業 3 ヶ月)	接客娯楽業 (年齢：50 歳代) 店内フロアにて、ビールグラスを両手に持って移動中、服が椅子に引っ掛かり転倒し右肩を骨折した。(休業 3 ヶ月)

労働災害発生状況、労働災害防止に関するパンフレット等は東京労働局ホームページをご覧ください。